

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

議長・副議長がかわりました！
議会の新体制をご紹介します



第156号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



議長・副議長がかわりました！ 議会の新体制をご紹介します

議会をもっと知ってもらうため、第152号から市議会のさまざまな情報を特集しています。
今回は、令和7年5月からの新体制をご紹介します。

正副議長が選出されました

5月22日の臨時会では、新たな議会の議長、副議長を決めるための選挙が行われました。
投票前には申し出があった議長候補2人、副議長候補1人が、所信を表明しました。
投票の結果、湯浅佐太郎議員が議長に、石山洋子議員が副議長に選出されました。

議長選挙投票結果

湯浅佐太郎	13票
小柳はじめ	10票
無 効	1票

副議長選挙投票結果

石山 洋子	24票
-------	-----



議長挨拶



第38代議長
湯 浅 佐 太 郎

議会は、新発田市が取り組む1,000を超える事業の審査、そして、約500億円の一般会計予算を審査することが重要な仕事です。

住みよいまち日本一健康田園文化都市しばたの実現のために市長としっかりと議論を進めてまいります。同時に、市民の皆様の声を聴き、市政の更なる発展につながるよう議会運営を行ってまいります。

そのためには開かれた議会が必要です。若い方々とも意見交換をしながら、市民の皆様、各種団体の皆様と共によりよいまちを創って行きたいと考えております。

今後も皆様からのご協力をお願い申し上げます。

副議長挨拶



第40代副議長
石 山 洋 子

議会には監視機能、政策立案機能、民意を吸収する機能があり、その機能は誰のため、何のためと問えば全て市民福祉の向上へと繋がっています。現在は、不安定な国際情勢と長引く物価高が市民生活を直撃し、先の見えない不安感を募らせている方が多くいます。市民の声を真摯に受け止め、議員間での活発な討議と必要な政策立案に努めて参ります。

市議会が市民の皆様にとってもっと身近な存在、開かれた議会となるために、市議会の見える化と地域に密着した更なる活動を推進して参ります。

今後とも皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

会派別議員名簿

| 特集 |

政策や考え方を同じくする議員が集まって会派を構成しています。

令和会



会長 宮崎 光夫



副会長 五十嵐良一



幹事長 比企 広正



若月 学



板垣 功



湯浅佐太郎



宮野 清隆



高橋 茂

すすむ会



会長 小柳はじめ



副会長 阿部 聡



惣山かすみ



宮本 佳太

日本共産党新発田市議団



会長 加藤 和雄



副会長 宮村 幸男



高橋 芳子

共道しばた



会長 小坂 博司



副会長 三母 高志



幹事長 長島 徹

市民クラブ



会長 中村 こう



副会長 小川 徹

新友会



会長 板倉 久徳



副会長 広岡けんじろう

公明党



会長 渡邊 喜夫



副会長 石山 洋子

各委員会の新たな構成

総務常任委員会

委員長 五十嵐良一
副委員長 広岡けんじろう
板垣 功
湯浅佐太郎
小柳はじめ
加藤 和雄
小坂 博司
石山 洋子
定数9名(1名欠員)

財政、ふるさと納税、移住・定住、公共交通、人権、防災、環境などに関する分野の議案審査を担当します。



社会文教常任委員会

委員長 三母 高志
副委員長 高橋 芳子
宮崎 光夫
比企 広正
阿部 聡
惣山かすみ
中村 こう
板倉 久徳
定数8名

健康、福祉、子育て、保険、年金、スポーツ、文化、教育などに関する分野の議案審査を担当します。



経済建設常任委員会

委員長 高橋 茂
副委員長 長島 徹
若月 学
宮野 清隆
宮本 佳太
宮村 幸男
小川 徹
渡邊 喜夫
定数8名

商工業、農林水産業、観光、都市計画、道路、公園、上下水道などに関する分野の議案審査を担当します。



議会運営委員会

委員長 板垣 功
副委員長 板倉 久徳
宮崎 光夫
五十嵐良一
小柳はじめ
宮本 佳太
加藤 和雄
三母 高志
中村 こう
渡邊 喜夫

定数10名

定例会・臨時会の日程や市議会に関する条例など、議会運営全般にかかわることを協議し、意見調整を図るために常設されている委員会です。



広報広聴委員会

委員長 板倉 久徳
副委員長 宮野 清隆
惣山かすみ
高橋 芳子
長島 徹
中村 こう

定数6名

市議会の情報を市民の皆さんに正確にわかりやすく伝え、議会をもっと身近に感じてもらえるよう議会だより「ヨミネスしばた」の編集等を行うために常設されている委員会です。



議員定数及び議員報酬に関する特別委員会

委員長 五十嵐良一
副委員長 長島 徹
宮崎 光夫 宮野 清隆
高橋 茂 小柳はじめ
阿部 聡 加藤 和雄
宮村 幸男 中村 こう
板倉 久徳 渡邊 喜夫

定数12名

今後の新発田市議会における議員定数や議員報酬に関し、さまざまな論点から検討するために特別に設置された委員会です。

4 月臨時会

学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進め教育環境を確保します。

● 契約の締結(本丸中学校長寿命化改良工事)

<総務常任委員会>

本丸中学校の安全面や機能面の改善を図ることを目的に老朽化した内部外部(床、壁、天井等)、トイレの改修、エレベーターを新設し将来にわたり長く使い続けることができるように改良工事を行います。



主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

4 月臨時会

6 月定例会

4 月臨時会	議第 4 号	契約の締結について(新発田市立本丸中学校長寿命化改良工事(中棟建築))	全員賛成
6 月定例会	議第12号	契約の締結について(除雪ステーション建設(建築)工事)	全員賛成
	議第13号	財産の取得について(新発田市消防団小型動力ポンプ付積載車)	全員賛成
	議第14号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第1号)議定について	全員賛成
	議第22号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第2号)議定について	全員賛成
	議第24号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第3号)議定について	全員賛成
	議会第4号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書	全員賛成
	議会第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書	全員賛成
	議会第6号	給食無償化に際し、質と量の確保を担保するための十分な予算措置を求めると共に早期に中学校まで拡大を求める意見書	全員賛成

6 月定例会 人事案件

- 副市長(同意) 渡邊 毅氏
- 人権擁護委員(適任) 田野 賢司氏(再任)・山口 智史氏(再任)・片桐 照氏(再任)・橋本 信子氏(再任)・荒川真里子氏(再任)・鈴木 京子氏(新任)

主なものをご報告します

6月定例会

小型動力ポンプ付積載車を4台購入します。

- 財産の取得(新発田市消防団小型動力ポンプ付積載車)

＜総務常任委員会＞

老朽化に対応し、計画的な更新を行い小型ポンプ車を配備します。



私立認定こども園が行う施設整備の経費を支援します。

- 認定こども園支援事業

＜社会文教常任委員会＞

2園の防犯カメラ設置、床、内壁、トイレの改修に係る経費に対し、国の交付金を活用して支援を行います。

維持管理事務所の老朽化に伴い除雪ステーションを建設します。

- 契約の締結(除雪ステーション建設(建築)工事)

＜総務常任委員会＞

事務所棟と車庫棟の2棟を旧荒橋小学校のグラウンド敷地に建設し、冬期間の安全な道路交通や物流の輸送経路を確保し、市民生活の安定を図るため除雪の拠点となる除雪ステーションを建設します。



老朽化した維持管理事務所

県の補助金を活用した省エネルギーの農業用機械を導入する農業者に支援します。

- 主要作物振興支援事業

＜経済建設常任委員会＞

燃油使用量や肥料費の低減のために必要な直進をアシストするコンバインや田植機などを導入する事業者に補助を行います。



物価高騰により困窮する市民・事業者等に対して「物価高騰対応重点支援地方創生臨時国庫交付金」を活用した経済的支援を行います。

- 保育園等給食食材費高騰緊急支援事業
- 学校給食食材費高騰緊急支援事業

＜社会文教常任委員会＞

米価等の高騰による公立幼稚園、保育園、認定こども園、小・中学校等の給食費値上げ分を支援することで給食の質・量を維持し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

- 燃油価格高騰対策緊急支援事業

＜経済建設常任委員会＞

肥料等の農業用資材の高騰が著しい水稻農家に今後の経営継続に重点をおいた、物価高騰に伴うかかり増し経費に対する支援をします。

- 緊急経済対策事業

＜経済建設常任委員会＞

物価高騰の影響を受けている消費者、事業者等に対して、今得キャンペーン「飲食プラン」、観光業全体の消費喚起を図る観点から、月岡芸妓を体感できる特別プラン、インバウンド誘客の促進に支援をします。

一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 市民の最後の砦である生活保護制度について Q2 原発再稼働県民投票条例案否決の受け止めは

▶ 長 島 徹 議員



- Q 現在、生活保護世帯を担当するケースワーカーの人数と一人が受け持つ担当世帯数は。
- A 9名の配置だが現在内2名が療養休暇を取得中。一人の担当世帯数は100世帯を超えている。大きな業務負担を生じさせている。
- Q ケースワーカー増員の考えは。
- A 来年度から間違いなく適正な配置を行うよう担当課に指示をした。
- Q 生活保護の担当部署は現在大変な状況です。

来年ではなく、今すぐにケースワーカーの増員を求めます。

- A 何とか検討します。
- Q 原発再稼働県民投票条例案否決の受け止めについて。
- A 法令で決まったこと、私が意見を述べる立場ではない。



Q1 映画館誘致の推進を求める Q2 クマ対策の強化を求める

▶ 阿 部 聡 議員



- Q 令和5年9月定例会で映画館誘致を求めた。映画館誘致を求める「映画館をつくる会」の署名は11,310筆に達した。その後の進捗は。
- A 具体的な協議が進んでいない。しかし、引き続きタスクチームによる協議の再開、映画館の整備をお願いする。
- Q 一昨年「鳥獣被害防止計画に、人身被害防止を加えるべき」と提案し、実施隊報酬の増額

も提案した。クマ対応の進捗は。

- A 令和7年度から報酬を増額し、損害賠償責任保険へ加入した。令和6年度から人身被害対策を実施している。

※他に農業者支援の強化について質問した。





Q1 マイナ保険証、資格確認書発行は万全か
Q2 給特法改正で教員の長時間労働は解消か

● 高橋 芳子 議員



- Q** マイナ保険証を取得していない被保険者は何人か。
- A** 令和7年1月末時点で国保3,898人、後期高齢者医療4,277人。
- Q** 資格情報のお知らせだけでは受診できないことの周知を。
- A** 資格情報のお知らせに記載がある。
- Q** 令和6年度の勤務時間、休日の部活動の地域移行は。

- A** 1日平均9時間39分、月80時間以上は35人5.9%。ラグビー、剣道、男子排球、軟式野球と前進。
- Q** 令和6年度の不登校人数は小学校89名、中学校は203名と増加傾向であるが支援策は。
- A** 多様な学びの場、車野校設置、親との面談等に取り組む。



Q1 個別避難計画作成の現状と課題について

● 三母 高志 議員



- Q** 災害時の避難行動要支援者の個別プラン作成状況はどうか。
- A** 対象者2,505名中593名、24%作成済み。割合は低いと認識。
- Q** 市の要支援者の要件は様々に課題があると考え、見直しては。
- A** 避難行動要支援者名簿の実効性を高めるため、関係課が連携し検討中。
- Q** プラン作成に当たり関連部署等の連携は必

須だが現状と対応はいかに。

- A** 難病患者の個別避難計画は作成経過から多様な部門等と連携が必須と認識。
- Q** プラン作成を外部委託している自治体があるが新発田市はどうか。
- A** 当市は外部委託は未実施だが関係機関との協議を指示した。



Q1 消雪パイプの整備計画を問う
Q2 ふるさと納税で楽器を扱ってはどうか

● 中村 こう 議員



- Q** どのような整備計画となっているのか。
- A** 既設の老朽化した井戸や散水管の更新を優先している。
- Q** 新設要望の対応状況は。
- A** 既設更新に理解いただいており、令和11年度以降に検討する。
- Q** 通学路の歩道除雪について学校と教育委員会との連携や国県との連携状況は。
- A** 学校や教育委員会から情報を受けたものは

早急に対応し、国県とも協力している。

- Q** 使用しなくなった楽器を「楽器寄附ふるさと納税」という取組により募集し、学校での活用を図ってはどうか。
- A** 学校での不足は生じていない。今後の研究材料にしたい。





Q1 「ももクロ春の一大事in新発田」の総括
Q2 改正アーバンベア対策法について

● 若月学議員



- Q** 市に賑わいを生み出したももクロファンの「モノノフ」にとって聖地となるような魅力発信、観光振興戦略はあるのか。
- A** モノノフにとって一過性とはしない。関連する情報発信と魅力、話題を提供する。
- Q** 次なる五十公野公園でのビッグイベントの企画等、今後の観光戦略の見通しや考えはあるのか。
- A** 現在はないが、自らその後に企画会社、映

画会社など訪問してきた。

- Q** クマ追い犬の導入について。

- A** 藪刈払い、放任果樹伐採等で対策する。ベアドッグの活用は現状簡単ではないが今後の課題として検討したい。



Q1 米騒動の影響等について
Q2 カスタマーハラスメントの防止について

● 渡邊喜夫議員



- Q** 主食用米価格高騰による輸出米との価格差、トランプ関税の影響は。
- A** 輸出メリットが小さくなっているが継続。関税の影響があれば対応。
- Q** ふるさと納税の返礼品の新発田産米の在庫不足への対応は。
- A** 米の返礼品への寄附が大幅に増加。新発田産米の確保と適切な運用を行う。
- Q** カスハラ被害は暴言や威嚇、長時間の拘束がある。通話録音装置を導入している県内

の自治体は。

- A** 三条市、妙高市、佐渡市が導入している。
- Q** 保護者からクレームや過度な要求等の実態は。
- A** 全ての小・中学校に該当する事案はない。教職員へカスハラに特化した研修は考えていない。



適正米価を期待し作業



Q1 通学路での児童生徒の安全対策について
Q2 熱中症対策について

● 加藤和雄議員



- Q** 通学路での交通事故や犯罪の実態は。
- A** R3年からR6年度、交通事故は34件。犯罪は0件。
- Q** 危険箇所の確認と対策の実施状況は。
- A** R6年度は33か所の合同点検を実施。危険箇所は所管する関係機関が対策を実施。
- Q** 歩道や狭い通学路の除雪は万全か。
- A** 積雪深10cm、朝7時までに除雪。

- Q** クーリングシェルターを特別警戒アラート発表時だけでなく涼みどころとして活用はできないか。
- A** 多くの施設で可能。
- Q** コミセンの多目的室でエアコンがないところは早急に設置すべき。
- A** 設置がないのは佐々木のみ。財政状況を踏まえ設置を検討する。





Q1 市の組織とチェック体制の充実を願って



● 小坂博司 議員

- Q 健康で働き続けられる職場づくりをめざし「労働安全衛生法」第3条で事業者の責務が謳われている。遵守に向けどう取り組むか。
- A 「安全配慮義務」ののっとり職場環境の整備を進めている。長時間勤務の是正や相談窓口の開設など職員が安心して働き続けられる職場をつくる。

- Q メンタル不調で休んでいる職員は、R6年度は減少しているもののいまだ高止まっている。市長の意欲を示すため半減をめざしては。

- A 減らす方向で頑張りたい。現在の数字で安堵してはいない。1人でも減らし、職員に喜んでもらえる職場づくりに取り組む。



Q1 当市の約21億円の債権・基金運用について

Q2 あおり館屋上広場の利活用、現状について



● 広岡けんじろう 議員

- Q 当市では約101億円の基金があり21億円の公共債を保有しているが、含み損益は直近でいくらか。
- A R7年5月29日現在、含み損は1,600万円。
- Q 利率が高い政府短期証券などを購入し、基金運用収益を増やしてみては。
- A 証券会社から情報収集し準備をはじめめる。
- Q 当市の債権運用状況の周知は行っているか。

- A 当市のホームページにおいて銘柄や金利など詳細情報を公表したい。

- Q R6年度、稼働率0%の屋上広場を外部委託しては。

- A 担当課に調べるように指示する。良いアイデアがあれば安全性等を総合的に判断し、屋上広場の利活用を考える。



あおり館屋上広場



Q1 太陽光発電事業者による廃棄問題について

Q2 不登校対策について



● 惣山かすみ 議員

- Q 市内事業用太陽光発電事業者の設置箇所、計画を把握しているか。
- A 106件。資源エネルギー庁の事業計画認定情報にて確認。市に届け出の義務はない。
- Q 稼働から10年以内に倒産、不法投棄の場合、市の予算を使うのか。
- A 基本は所有者が撤去。市は周辺住民へ注意喚起。
- Q 他市で、廃棄費用を担保する条例があるが

制定する考えは。

- A 国のガイドラインに従う。土砂崩れ等災害リスクもあるので研究する。

- Q フリースクール等の民間施設のガイドライン作成の状況は。

- A 市内唯一のフリースクール視察等をし、作成に向け取り組む。





Q1 当市職員の人材確保戦略と働き方の展望
Q2 副市長の体制について

宮本 佳太 議員



- Q 新卒・第二新卒及びミドル層の中途採用枠を拡大する考えは。
- A 20代職員の構成割合が少ないことは承知しているが、中途採用枠を拡大する考えはない。
- Q 直近3年の民間交流人材実績及び民間交流の活発化の考えは。
- A 4人の実績があるが、人的資源に限りもあり民間交流を増やす考えはない。
- Q 民間並みのDX化推進に向け、民間人材を登用する考えは。

- A 登用する考えはない。
- Q 職員の副業を解禁する考えは。
- A 現状認める範囲とし解禁する考えはない。
- Q 財源が限られている中で副市長を2名とする上で成果目標は。
- A 具体的な数字を掲げることはできない。



Q1 価格保障や増産・所得向上を国に求めるべき
Q2 国が給食費無償化を約束したが、市の計画は

宮村 幸男 議員



- Q 農家に反映されない米騒動である。国に価格や所得補償・減反見直しを早急に求め、市独自の農機具助成制度をつくってはどうか。
- A 市は現行の交付金等を活用し農業者の所得確保を図ってきた。R9年度からの水田政策は現行以上を望む。市の新たな農機補助はない。
- Q R8年度から国が小学校給食費無償化する方向性を示したが市として中学校を含めた

計画は。公約上、今年度3か月位の無償化実施を。

- A 国から内容が示されていない。全国市長会で5月に要請を提出した。国の具体策が出れば協議する。市単位で無償化は考えていない。



Q1 急な「副市長二人制」には大いに疑義がある
Q2 データセンター誘致に名乗りを上げてほしい

小柳 はじめ 議員



- Q 従来の答弁からの方針転換は政治的信念の変更かそれとも天下り官僚の押しつけに屈したのか。
- A 職員からの副市長2名登用は否定したが今回の財務省からの話は全く別な次元で千載一遇のチャンスだ。
- Q 「次なる市勢発展施策のための変更は有り得る」と答弁しているが登用の手順は逆で本末転倒だ。

- A 国との関係強化のためのチャンスをモノにするものであり従来の答弁と何ら矛盾は無い。
- Q 雪冷熱や水冷が有利な中山間地では温排水で施設栽培が可能で獣害にも有効だ。
- A 雪国型データセンターの事例があり当市でも大いに可能性があり検討したい。



議会からのお知らせ

新しい議会人事のご報告(敬称略)

● 新発田地域広域事務組合議会議員(当選)

湯浅佐太郎 / 石山 洋子

宮崎 光夫 / 高橋 茂 / 小柳はじめ

加藤 和雄 / 小坂 博司 / 小川 徹

広岡けんじろう

● 新潟東港地域水道用水供給企業団議会議員(当選)

若月 学 / 宮本 佳太 / 長島 徹

● 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員(当選)

三母 高志

● 監査委員(同意)

中村 こう

議員表彰

全国市議会議長会から表彰された議員を紹介します。

小川 徹 議員 (議員在職 30 年)

比企 広正 議員 (議員在職 20 年)

宮崎 光夫 議員 (議員在職 10 年)

板垣 功 議員 (議員在職 10 年)

阿部 聡 議員 (議員在職 10 年)

議会を傍聴してみませんか



みなさんも
傍聴にお越し
ください

市議会では市民の皆さんに身近な問題を審議しています。

市民の皆さんが市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

市民の皆さんはもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。

議会報告会とWeb議会報告会を開催しました

報告会では、令和7年度一般会計予算関係を中心に2月定例会で審議した内容を議員から説明しました。

今回は、市役所本庁舎「札の辻ラウンジ」のオープンスペースにてグループワーク形式で「新発田の魅力 新発見」もテーマに加え、皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

いただいたご意見等は、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

当日参加者数			(人)
5月 24日(土)	午前	加治川地区公民館	2
	午後	市役所本庁舎 1階札の辻ラウンジ	3
28日(水)	午前	市役所本庁舎 4階委員会室	1
	午後	市役所本庁舎 1階札の辻ラウンジ	9
31日(土)	午前	バスツアー	30
	午後	市役所本庁舎 1階札の辻ラウンジ	19
28日(水)	夜間	Web議会報告会	※25

※当日の視聴者数は25名でしたが、7月以降、視聴回数は150回を超えています。

会場での主な質疑応答

- Q 新規事業のために廃止する事業もあると思うがどう判断するのか。
- A 基本は市長部局が判断するが、議員は9月議会の決算審査で事業を評価する。
- Q 現在、歴史図書館があり、今後、歴史資料館を建設する計画があるがどのような資料館になるのか。
- A 現在、計画中である。
- Q 選挙立会人については、一日が長いので午前と午後に投票時間を短くするのはどうか。
- A 交代も可能である。



参加者からの主な意見等

- 高齢者施設が老朽化で解体せざるをえなくなったが地域住民が不便になるので解体せず維持してほしい。
- 少子化で集落に若者がいない。自治会の維持が困難である。人口減少対策に更に力を入れてほしい。
- ジビエ料理のお店が欲しい。地域資源になるのではないかな。
- お年寄りにやさしい町を目指してほしい。

Web議会報告会

「ライブ配信することで若い方にも議会に興味をもってもらい、リアルタイムの意見交換がしたい」という思いで開催しています。ご自宅等で気軽に視聴できるWeb議会報告会の配信を今後も続けていきたいと考えています。

今回のWeb議会報告会については、右の二次元コードを読み取ることで視聴することができます。



市内施設バスツアー初企画!!

募集定員満員の30名の皆さんからご応募いただき、引き続き多くの方が議会報告会にも参加いただきました。

マイクロバス2台に市議会議員が添乗し出発しました。



蔵春閣



蔵春閣と刀剣伝承館天田昭次記念館では各施設の方から施設概要を説明いただきました。月岡温泉では湯を気軽に楽しめる足湯と、新発田ならではの特色あるお店をめぐり、美装化した温泉街を散策しました。



月岡温泉 足湯

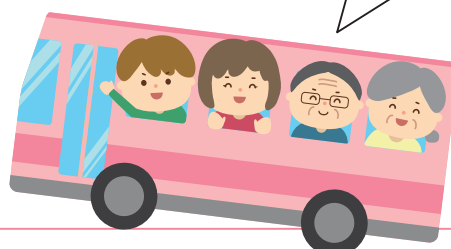
刀剣伝承館天田昭次記念館



バスツアー参加者からの主な意見等

- 新発田のまちなみ(田んぼ)や施設が見学できてよかった。
- 気軽に参加できて新発田を知ることができ、広い世代の方々と交流もできた。
- 新発田に転入してきてよくわからないところがあったけれど、バスツアーで新発田には魅力がたくさんあることを知ることができた。

市役所本庁舎1階 札の辻ラウンジ



9月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5 議会運営委員会	6
7	8	9 本会議 (提案理由説明) 決算審査特別委員会 (財務課長説明)	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13
14	15 敬老の日	16 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	17 常任委員会 (総務)	18 常任委員会 (社会文教)	19 常任委員会 (経済建設)	20
21	22 決算審査特別委員会 (第3セクター) 議会運営委員会	23 秋分の日	24	25 本会議 (補正予算等採決)	26 決算審査特別委員会 (総務関係)	27
28	29 決算審査特別委員会 (社会文教関係)	30 決算審査特別委員会 (経済建設関係)	10/1 決算審査特別委員会 (市長総括質疑)	2 議会運営委員会	3	4
5	6 本会議 (一般会計決算議案等採決)	7	8	9	10	11

※請願・陳情の提出期限は9月1日です。 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

ラジオは録音放送しています

①FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。
(放送日程は①FM放送と同じ)



編集後記

記録的な空梅雨により、気候変動の影響を実感する夏となっています。昨年から様々な要因で全国的に米不足が深刻化し、「令和の米騒動」とも呼ばれる状況に発展しました。お米をめぐる問題は、私たち消費者の食生活だけでなく、生産者の営みや地域の農業にも深く関わるものであり、その在り方をあらためて見つめ直すきっかけにもなっています。

さて、今回の市議会だよりは、議会新体制のもと新たな広報広聴委員メンバーで作成しました。市民の皆様にも市議会の活動をより身近に感じていただけるよう、私たちは新たな取り組みにも挑戦しています。これからも、これまで以上に開かれた議会を目指してまいります。

(文責 板倉久徳)

【広報広聴委員会】委員長／板倉久徳 副委員長／宮野清隆 委員／惣山かすみ・高橋芳子・長島徹・中村こう

令和7年8月19日発行 ©発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会 〒957-8686 新発田市中央町3丁目3-3 新発田市議会事務局
©TEL 0254-28-9400 URL: <https://www.shibata-shigikai.jp/>

廃液を出さない環境対応印刷です

